

# きたかみ未来創造会議

## 創造NEWS 第5号

2009.2.24  
第5回会議  
分野別の  
キャッチフレーズの巻

「第5回きたかみ未来創造会議」が2月24日（火）に開催されました。

今回は、第4回目の内容から、それぞれ分野ごとの課題の整理とキャッチフレーズの作成を行いました。

### ■第5回「きたかみ未来創造会議」の概要

今回は、前回内容の確認を行った後、課題の整理（掘下げ）と望ましい未来の状況の確認を各分野別に行いました。

課題の整理に関しては、はじめに前回考えた主要なテーマに基づき、他に課題がないかを確認しました。

また、総合計画策定のコンサルタント（専門家）から、全体の課題を網羅・確認するために、現総合計画にないものやもう少し検討を要する課題等について、参考となる視点が示され、それらも含めて検討しました。

その結果、前回では議論しきれなかった課題も多数出され、それぞれ分野別の課題は、平均で1.5倍にもなりました。

それらの課題について、望ましい未来の状況を補足し、分野ごとに北上市のあるべき姿が整理されました。

それらの作業に基づき、分野別のキャッチフレーズを検討するのが、今回の内容です。まずは、個人で「大切・重要だと思うキーワード(単語)」を3つ選んだ後、グループ全体で、選ばれたキーワードからまちづくりの方向性を考え、文章にしました。

不慣れな作業であるため、メンバーの皆さんもかなり苦戦することとなりましたが、それぞれの分野の「大切なこと」が詰まったキャッチフレーズが作成されました。

次回はよいよ、北上市全体のキャッチフレーズ（北上市の将来像）を考える作業となります。分野別の視点をさらに深めるとともに、他の分野の意見も確認して、北上市全体の将来像について考えましょう。

### <次回開催について>

次回は、分野別に作成したキャッチフレーズ原案について、専門家がサポートした内容を皆さんに確認、検討して頂きます。そして、そこから北上市全体のキャッチフレーズ（将来像）を考えます。次回までに、今回の各分野別のキャッチフレーズとキーワードの確認をお願いします。

※次回開催 日時：3月10日（火）18時30分～  
場所：市民交流プラザ

○お問い合わせ 北上市政策企画課 64-2111 まで

※いよいよ北上市全体の将来像の検討に入ります。皆様の積極的なご参加をお待ちしております！



分野別の課題の整理



望ましい状況の確認



キャッチフレーズの検討



成果発表

## ○分野別のまちづくりのキャッチフレーズ

### 分野：保健福祉

#### 安心して暮せる豊かな夢のあるまち

##### ○キーワード

- ・安心して ・暮らす（暮せる） ・豊かな ・夢のある ・まち
- ・みんなが ・充実 ・誰もが ・プライマリ・ケア
- ・社会保障 ・見守り ・手厚い ・いきいき ・老後 ・健康 ・子育て ・育児

### 分野：教育文化

#### 生きる力を育む教育文化のまち

##### ○キーワード

- ・生かされる ・生きる力 ・元気になる ・元気 ・生きる力の充実 ・生きる力の基礎
- ・生きる力の環境 ・生かされる ・生きる力
- ・充実した環境 ・充実 ・価値ある～ ・環境整備 ・あふれている
- ・体験 ・専門的な人材 ・IT活用 ・活用 ・活用 ・地域の先生 ・交流 ・交流
- ・価値ある文化 ・息づく街 ・育み ・多様性 ・教育機会の多様性 ・多様な力の育成
- ・基礎的な力の育成 ・教育環境の整備

### 分野：産業雇用

#### 独自の技術と資源を組立て 活気うまれる北上

##### ○キーワード

- 資源
  - ・水 ・資源 ・産業を支える人
- 独自
  - ・先端技術 ・独自の ・はたらく（労働） ・魅力 ・発信
  - ・農業 ・工業
- 活気
  - ・活気 ・活気 ・活気 ・まちづくり ・活かす ・にぎわい
  - ・組み合わせ コラボレーション ・再構築 ・支援

## 分野：地域整備

### ユニバーサルデザインが集落をつなげる 多様なくらしを実現する

#### ○キーワード

- ユニバーサルなデザインを
  - ・快適 ・エコ ・健康 ・エコな ・優しい
- つなげる
  - ・限界欲求 ・交流
- 地域
- 多様な生活・暮らし
  - ・環状形 ・コンパクトシティ ・林地 河川による骨格化
  - ・防災意識 ・減災

## 分野：生活環境

### 自然と心がきれいなまち きたかみ

#### ○キーワード

- ・地域で減災に取り組む ・地域と住民（市民）
- ・安全安心 ・安心安全 ・治安維持
- ・「豊かな森」 ・豊かな緑 ・緑の保全 ・花と樹と水 ・自然がきれい
- ・きれいな水 ・安心・安全な水！ ・空気がきれい
- ・四季が香るまち ・心がきれいな町きたかみ

## 分野：推進体制

### 市民が主導し協働する街

#### ○キーワード

- 市民 ●主導 ●協働
- ・健全化 ・役割分担 ・配置 ・体制
- ・市民 ・参加 ・全世代参加 ・自治
- ・協働 ・行動（協働） ・協働
- ・情報 ・意識 ・認識共有 ・判りあい ・人材育成 ・3世代 ・心豊か

## 分野：保健福祉

「みんながすこやかに  
子育てできる きたかみ」

- ・子育てしやすい環境の整備を進める必要がある
- ・無認可の育児施設をなくし、公設、民営型の施設を増やす
- ・公立保育園の不足（0才児～の）
- ・経済力の充実（保育料を安くしてほしい）
- ・保育施設を北上独自のシステムを作るとよい
- ・保育園での待機者を少なくしていく必要がある
- ・保育料を安くする
- ・0才児保育をする公立保育園を増やす
- ・子育て支援の施設がまだ足りない
- ・働きながら子育てしやすいようにする
- ・出生率は県内1番
- ・子育ての環境がよい
- ・子育ての環境がよい
- ・育児相談が気楽に出来る

「みんなで子育てする元気なまち きたかみ」  
「子供たちがすこやかに育つまち きたかみ」  
「いきいき子育てできる きたかみ」  
「子育てにやさしいまち きたかみ」  
「北上が目指す手厚い福祉の施策と安心して育てる子育て支援」

「老後も安心してくらせるきたかみ」

- ・一人暮らし老人へのサポートが必要
- ・地区防災の一人居対策を確立すべきである
- ・後齢者を地域で見守もる（近隣と）
- ・後期高齢者だけの世帯も増えてきた。地区防災組織のきめ細い対策が必要。
- ・介護福祉施設が少ないので増やしてほしい
- ・介護施設を充実する必要がある。高齢者の介護のあり方を考えるべき。
- ・高齢者福祉施設の増設、資金のない老人にも入所できる施設
- ・県立北上病院の跡地の利用を高齢者交流施設にするよう進めてほしい
- ・市の将来の老人問題が心配です
- ・後齢者の長期の増減を見通した計画
- ・地域の中にお休み処（高齢者）
- ・高齢者への対策（くらしやすい老後）
- ・高齢者にきめ細い対応出来るまち
- ・高齢者が多い（知恵と知識を活用したい）
- ・老人クラブの地域活動を充実させる
- ・近隣とのふれあいを密にして助け合っていく必要がある
- ・おとなりさまの文化をもう一度見直す（おとなりを大事にする）
- ・元気老人のNPOをたちあげ、見守り活動する

### ○医療体制

- ・医療体制を充実する必要がある
- ・市内に病院が多いので市民は安心できる。
- ・病院数が多くてよい
- ・医療機関がある
- ・高齢者の地域生活と医療の不安を解消したい
- ・北上市内 病院が偏在しすぎる
- ・医師が働きやすいようにする→休日の確保、医師増やしていく必要である
- ・介護度に応じた介護サービスを受けられるようにしたい
- ・現在発足している傾聴ボランティアの組織を市として取り組んでいくべきだ。久慈市の取り組みが参考になる。
- ・自殺者防止への取り組みを進めるべきである
- ・保健・医療分野のサービスや施設の充実（送迎バスも含む）
- ・プライマリ・ケア宣言のまち
- ・里帰り出産をさせたい
- ・受診者と開業医との関係と紹介状の問題）

### ○健康づくり

- ・施設、設備の充足（整形外科医院には整っている）
- ・メタボ対策 指導どこまでできるのか
- ・直産品で健康を

### ○障がい者福祉

- ・障がい者が働ける場の確保
- ・知的障害者の集う施設が欲しい



## 分野：教育文化

### 「子どもたちが自ら学びひかり輝く学校教育」

- ・ 高等教育レベルUP
- ・ 市内に大学がない
- ・ 高校生が市外へ
- ・ 高等教育の施設の充実
- ・ 高等教育の充実
- ・ 専門学校が少ない
- ・ 先端技術を受け入れる教育場所 人材の育成
- ・ “枯れた技術”を活用できる教育場所と人材育成が必要
- ・ 進学希望者が増え、地元が彼らをサポートしている
- ・ 学校教育の内容の充実
- ・ 学力の向上
- ・ 10年後は小・中生の学力が岩手県のトップクラスになること。優秀な人材の育成のため。
- ・ 持ちようある教育方針を決める
- ・ 進学率を上げる
- ・ 特徴ある教育方針により学力が向上している
- ・ 学校環境の充実
- ・ 子供の体験機会の多ジャンル化
- ・ 少子化後の教育対策対応
- ・ 1クラスの児童が多い
- ・ 学校環境が充実している

### 「社会教育が生きる力になっている きたかみ」

- ・ 家庭の教育力を向上する必要がある
- ・ 家庭教育の充実
- ・ 生涯学習の充実した環境をのばす
- ・ 社会教育の機会を多様化する必要がある
- ・ 社会人への高等教育機会
- ・ 世代をこえた社会教育の充実
- ・ 社会教育の場の充実
- ・ 学校施設を拠点に地域の先生と地域の生徒がつどう
- ・ 老人大学だけでなく色々な大学をつくる
- ・ ITを利用した生涯学習活動

### 「スポーツで心と体が元気になる きたかみ」

- ・ スポーツ人口を拡大する必要がある
- ・ スポーツの体験の充実
- ・ スポーツの活性化
- ・ ニュースポーツの用具が充実している
- ・ 専門家が活躍する機会が必要
- ・ 専門家が活躍できる場、機会が必要
- ・ トップアスリートの技術を観る、教えてもらう機会が必要
- ・ プロスポーツ・チームの立ち上げ（NPO、企業）
- ・ 一貫性のあるスポーツの指導がされる環境がある（小・中・高を通して）
- ・ 指導者の知識が生かされる社会

- ・ 充実したハード資源を生かすソフトが必要
- ・ 世代間の交流・年配者の知識を生かす場が必要
- ・ 世代間の交流が活発化し知識・知恵を共有できる社会
- ・ 知識、知恵が生活に生かされている ・ 知恵（文化）
- ・ 人材の活用
- ・ 専門的な人材・リーダー・指導者の連携がありレベルが高まる
- ・ 各分野のリーダーが協力・連携する 高めあうしくみが必要
- ・ 活動を体系的にPRする必要がある
- ・ 各分野の情報が市民に周知される必要がある
- ・ 各分野の様々な情報がすぐに手に入る状態
- ・ 子どもたちの基本的な生活習慣（の確立？）
- ・ 教育文化のビジネス化

### 「価値ある文化が息づく街 きたかみ」

- ・ 民俗芸術を保存・伝承・発展する必要がある
- ・ 民俗芸能の付加価値を高める
- ・ 民俗芸能の良さをPRする機会を増やす
- ・ 民俗芸能発表機会がある（芸能まつり、発表会）
- ・ 郷土芸能の更なる発展
- ・ 民俗芸能に関わる人口がふえている
- ・ 民俗芸能の活性化
- ・ 民俗芸能の担い手の育成
- ・ 民俗芸能団体の活動をサポートする補助金がある
- ・ 民俗芸能の財源不足
- ・ 民俗芸能の学術的な調査、映像記録が必要（将来的な復活の可能性を残す）
- ・ 民俗グッズがたくさん出ている
- ・ 文化財の保存・継承が必要
- ・ 文化財の保存・活用
- ・ 文化財が日常で活用されている
- ・ 歴史文化の活用
- ・ 個人で所有する文化財の調査、保護
- ・ 文化財の調査研究をすすめる機関が設置されている
- ・ 遺跡の分布確認や内容解明が必要
- ・ 消滅リスクの高い埋蔵文化財の調査と記録保存がされている
- ・ 高度な芸術文化活動の創造
- ・ 芸術の質を高める
- ・ 質の高い芸術があふれている
- ・ 生活の一部に芸術がとりこまれる事業がひつよう
- ・ 芸術文化の機会が生活にあふれている
- ・ （きがるに）芸術文化を習得する場所がひつよう
- ・ 芸術文化にふれられる教室がタダ

## 分野：産業雇用

### 「農・工・商の連携のとれた きたかみ」

- ・独自の物産品が少ない（造るべき…）
- ・独自の物産品をつくり出す
- ・産業構造のかたより
- ・産業構造のバランスをはかる
- ・工業中心の産業構造
- ・工業を中心とした異業種・多業種の発展
- ・異業種・多業種があり、働らく選択肢の幅が多い
- ・工業中心の産業構造に問題あり！！農業・工業・商業・観光のバランスある構成（構造）
- ・製造業企業の集積
- ・不況に負けない工業集積
- ・みりよくある職業をふやす
- ・農業を支える工業を
- ・企業が多く働く場所がある
- ・農・工・商の連携
- ・多様性のある工業を活かす

### 「仕事と教育がつながる きたかみ」

- ・サテライト大学を誘致する
- ・先端技術を受けれる教育場所をもつ
- ・先端分野で活躍できる人材をたくさん作る

### 「人と技術が工業を支える きたかみ」

- ・地元（に根指した）資本による工業・農業・商業の育成（人も含めて）
- ・人材を育てる（様々な産業分野で活躍できるように）
- ・派遣労働者が多い
- ・就業支援をふやす
- ・農業研修センターと教育のつながりを増やす

### 「『良さ』のつながりを活かす きたかみ」（観光）

- ・ゆたかな自然
- ・通年観光がない
- ・通年観光を組立てる
- ・観光PRが不足している
- ・観光資源を生かしきれない
- ・観光資源を生かしきれしていない
- ・観光開発力が弱い（PR）
- ・ターゲットをしぼった観光PRをする
- ・観光ガイドの養成を増やす
- ・近隣市町村との連携を高める
- ・産業観光工業見学のできる観光をつくる
- ・北上の歴史を観光の材料に

### 「農業をしたいと思う きたかみ」

- ・農業後継者の不足
- ・農業後継者・担い手の育成が必要
- ・農業の将来（担い手）に不安がある
- ・食料自給率を上げる
- ・農業の維持
- ・地産地消を念頭においた農業のしくみ
- ・安心・安全の食材提供
- ・子供の頃からの農業体験
- ・農業所得を上げる仕組みづくり

### 「『ここしかない』がいっぱいある きたかみ」（商業）

- ・独自の物産がない
- ・独自の物産品をつくる
- ・中心市街地の空洞化
- ・中心市街地を活発にする
- ・中心市街地に公共施設を
- ・中央資本大型店を生かす、利用する
- ・みりよくあふれるお店を増やす 専門店
- ・「市」をつくる
- ・歩いて用の足せる商店街
- ・ついでに買えるまちづくり
- ・住商接近の住宅
- ・店などをつなげる循環バス
- ・農業体験のできる観光

## 分野：地域整備

### 「自然と都市のバランスがとれた町 きたかみ」

- ・花がたくさん咲いている道路にする（杉・雑草はダメ）
- ・ゴミのない街 クリーントラストの推進。企業や団体が責任をもって清掃しあう  
例えば、展勝地を区分管理
- ・自然環境を生かした景観づくりが必要である。
- ・自然と都市のバランスがとれた景観（かたよりすぎない）
- ・高速交通の整備が進んでいるので、それを活用した観光等の集客に力を入れる必要がある。
- ・自然景観や農村景観が多く残っているので、これの保存が必要ではないか。
- ・防犯 児童見守りシステム、高齢者見守りシステム  
→ボランティア地域活動  
住みたくない理由の解消へ 消防、防災防犯体制に不安の解消
- ・ゴミ不法投棄監視システムの導入が必要
- ・自動車のクリーンエネルギー化必要だ
- ・自然保全地域と都市整備地域のゾーン分けが必要
- ・緑や農地をむやみに減らさないようにする
- ・哲学 計画の横軸 UDの考えを導入する
- ・計画の横軸 つなぐネットワーク社会 高度情報化社会
- ・コンビニが一つのエリアになる…??
- ・市役所のコンビニ化
- ・かくさんが悪いのか、いいか
- ・集落のエリア…第一次…第二次…

### 「みんなで支える交通のあるまち きたかみ」

- ・冬期間交通確保の手段を考える（含除雪排雪対策）
- ・オンデマンドバスの導入 タクシー代わりに使えるバス
- ・公共交通網の整備が必要
- ・公共交通の充実が必要だ。中途半端だと車の便利さには勝てない。バスがあれば、バス使うのか？車規制？
- ・公共交通機関の充実か！自動車利用の選択か！
- ・がまんの度合を明確にする必要がある
- ・今後インフラの整備には、金は掛けられない
- ・高速交通体系や幹線道路は整備が進んでいる。これをもっと生かすことが大切。
- ・公共交通の利便性を上げる必要がある
- ・地域コミュニティの活性化を図る必要がある
- ・ECOはどうなった
- ・地域のコミュニティーをまもれるか否か
- ・今あるコミュニティーの保存

### 「災害に負けない きたかみ」

- ・災害が起きたときの対応する力を強くしたい
- ・防災組織の周知・意識を高めることが必要
- ・地区交流センターと防災本部通信網の確立が必要
- ・死なない街にしたい  
消防→告知体制野整備必要  
救急→救急車両映像伝達システム  
防災→治山治水、がけ崩れ、監視カメラ体制整備
- ・防災組織が整備されてきた。→日頃からの訓練・付き合い
- ・災害に強い道路交通網の整備
- ・災害が来てもパニックにならない様にしたい
- ・学校耐震化、完全実施が必要
- ・地震速報の設備が必要。減災教育、防災訓練、自治防災組織強化が必要
- ・消防出動情報の周知の仕方の多様化が必要
- ・現場から災害情報の収集できるシステムの構築が必要
- ・災害発生ポイントの確認をしやすくしたい（最も危険な箇所）住民への周知をわかる様にしたい
- ・避難経路の整備・周知する必要がある
- ・老朽化橋の定期的点検監視及び計画的補修が必要
- ・情報網の整備・明確化する必要がある
- ・地域FM放送の開始が必要

## 分野：生活環境

### 「ゴミが少ない きたかみ」

- ・有料化と合わせた複合施策の展開（生ごみ対策など）食べ残し→教育
- ・リサイクルシステムの確立
- ・ゴミの分別処理
- ・農作業の（草、ゴミ）も含めて対策が必要である
- ・公共、河川のゴミの対策が必要である
- ・生ゴミの処理
- ・事業系と一般のゴミの分別ができていない
- ・さらなる減量対策
- ・資源ゴミの減量をもっと必要である
- ・リバウンドしないように対策が必要
- ・ゴミ袋の有料化の問題
- ・レジ袋を持参する（エコバックの利用）
- ・ゴミステーションなど場所によってばらばら
- ・ゴミステーション 統一性を高める必要がある
- ・3Rの学習、罰則
- ・ゴミのマナーの向上
- ・他地区からのゴミ捨てを防ぐ必要がある
- ・ゴミGメンを増やす必要がある（枚限強化）
- ・ゴミの回収方法 アパート、マンション
- ・カラスの対策
- ・企業の商品梱包（ゴミを出さない）の問題
- ・企業間連携 ゼロエミッションのネットワーク化（産業のまちとして）

### 「治安が良く安心して住めるきたかみ」

- ・地域のパトロール体制
- ・街灯が少ない 組合
- ・駐在所の配置の見直し 重点地区への配置
- ・子ども110番 避難所の設置と連携
- ・消防・防災の体制
- ・除雪対策
- ・街中の小道路の除雪（年寄りが多い）
- ・暴力団追放

### 「公害のない きたかみ」

- ・大気汚染、工場排水排煙
- ・交通 騒音
- ・地下水の汚濁

#### 関連課題

- ・自然の多さと都市機能のバランスがある程度とれている
- ・除雪対策
- ・下水処理施設の整備（下水道の普及）
- ・消防・防災の体制
- ・ママチャリ

### 「自然と共生する きたかみ」

- ・水質、上水（水道水）の保全
- ・清水の景が減っているのが問題がある
- ・犬のフンのマナーの改善（向上）が必要
- ・宅地化等に伴うホテルなどの減少
- ・里山の整備
- ・上流域の森林整備が必要
- ・休耕地の手入れ、整備
- ・展勝地が街中に近いが整備されていない。極楽寺も。

### 「不法投棄が少ない きたかみ」

- ・監視カメラを設置する
- ・公共河川のゴミの対策が必要である
- ・土地管理をする 草刈り、フェンス、標式
- ・環境整備をする
- ・罰則 告知 50万
- ・企業や地区で清掃活動を実施
- ・パトロールの実施と権限
- ・犬の散歩と一緒に指導できるなど権限をあたえる
- ・教育指導（マナー）
- ・事業者のマナー（工事関係者）



# 分野：推進体制

## 「みんながわかりあえる きたかみ」交流

### 「世代に結ぐ きたかみ」

- ・現在の30代、40代の人材育成が大事である
- ・人材育成を意識した推進体制とする
- ・3世代が住める住宅建設の促進（行政の力）

### 「人材育成がスムーズにつなげることができる きたかみ」 「おたがいが活かし合う街」

- ・林業の振興に重点を置いた
- ・地域づくりに多様な価値観の人たちをどのようにしてまとめていくか？解決策？
- ・価値観の多様化による距離感が大きいのが。  
ex) アパート⇔持家、若者⇔先輩
- ・(地域、行政、企業、団体の)協働を推進する
- ・地域と北上市が協働での街づくり(地域が主)地域住民が地域の問題に詳しい地域自治基本条例
- ・議会、議員との関わり

### 「ほっとするまち きたかみ」

- ・安全・安心・豊かにを基本とする感じる協働
- ・人々が生活にゆとりを持ち、まちづくりに意識をして参加できるように
- ・10年後…そこに住む人が“しあわせ”を感じられる街になっていればいいと思う。どこかと競争するとか、欲望には限りがないと思うので、“おちつける街”

### 「市民が主導し、協働するきたかみ」

- ・地域自治基本(16地区へ対応)条例の制定
- ・(地域)市民・企業・行政が一体となるための自治基本条例策定
- ・市民活動の推進
- ・市民が主体となり協働を主導し、行政は補う。地域・企業・団体は積極的に関わっていく。
- ・地域の役割(できること)行政の役割をはっきりと。→自治基本条例?→地域での協働  
「主役は市民」  
「地域が元気な北上」  
「みんなが参加する街」  
「市民が主導し協働による地域づくりの北上」  
「みんなで創る北上」

#### ○協働

- ・ボランティアは限界なので、協働のカタチで有償で責任あるしくみほしい
- ・ボランティア、ボランティアと言うけれど…
- ・ボランティア活動へのフォロー
- ・企業の社会貢献をメリットに感じるしかけがない→企業の社会貢献との連携が少ない

#### ○参加

- ・知っている人だけが知っている
- ・PR不足
- ・すすんで参加し行動する人が少ない
- ・市民がまちづくりに関心なさすぎ→個人の声をみんなの思いに高められていない
- ・施策や市全体のことに、提案や意思をきめていくためのルールがあいまい
- ・具体的な役割分担を明確にした取り組み

- ・押しつけのないつながりづくり ex 防犯・安全、(危機感は何?)
- ・高齢化→互助 交わりと交流のしかけづくり 参加して欲しい人のニーズを満たす→まかせる
- ・地域間交流 世代間交流の促進  
「わかりあえる北上」  
「皆なが作り上げるまち きたかみ」  
「みんなで話し合う街」  
「若者が表現(行動)を出来るきたかみ」  
「弱みを共有して解消出来る北上」

### 「心豊かな街 きたかみ」

- ・何のために、誰のためにをよく話し合うこと→「民意に基づく」ことが大事で、都合の悪い意見、反対意見も大切にする。

#### ○情報

- ・近くの地域相互の情報の共有少ない 近くのいいものをまねる
- ・地域のニーズと企業の社会貢献マッチしきれていない
- ・情報公開法のきゅうくつさが地域づくりをしにくくしている

#### ○財源

- ・予算、使途に自由度が少ない
- ・同じような団体に同じように補助してないか?
- ・既得権が課題
- ・業務量に見合った人員配置と財政のうら付け
- ・限られた資源(市財源)を有効に使うための施策えらびを市民と十分できていない
- ・既成の予算編成の見直し
- ・戦後体制からの脱却 右肩上がりの成長はない

#### ○議会

- ・地域における協働のすすめ方(何をどうしたいかを示して…)
- ・行政、市民、各地域 自治協の関係・役割を明確化するため自治基本条例が必要長はない

## <ふりかえりシートから>

- 今日は時間的にスムーズだったと思う。キャッチフレーズも良かったのではないかなと思う。
- 各分野のキャッチフレーズで共通する部分もある。いずれもめさずものは同じ。
- 短い時間の中で、良くまとまったのではないかな。議論が活発になってきたように感じる。
- 一つ一つの積み重ねが大切であると思う。
- 現状課題に目がいき、なかなか10年先に立っての考え方ができないなあ…。
- 課題出しでは、近いと思われた意見を出していたメンバーなので、キャッチフレーズ作りでは、まとまった意見になると思っていたが、バラバラでした。しかし、3つのキーワードが課題の中で共有されていて、決まりななんとかキーワードが出来上がりました。
- キーワードが10年前と殆ど変らななかったことは、進歩してない？あるいは永遠のテーマか。「主導」のキーワードはなかなかグー。
- 回を重ねる度に意見は白熱するが、ひとつの言葉に集約することはむずかしい。
- 「市民が主導する」というすごいキャッチフレーズになりました。北上市政の「方向転換」となるかもしれません。
- いよいよ最終段階か。色々皆の意見を聞き学ぶものが多く、方向づけができた。一番身近な生活環境分野を選んだが、奥が深く、良い勉強ができた。
- 前回の会議の内容整理するのが大変であった。(忘れてる)推進体制分野において幅広い見方ができて良かった。計画推進に当たっては様々なプロセスを具体的に計画することが大変重要となってくる。
- 皆の意見を入れ、一つにまとめることの難しさを感じました。
- 言葉をひねり出す作業がなかなか大変でしたが、みんなで協力してひとつのキャッチフレーズを作り出すのは楽しいものです。
- たくさん出された内容項目からキャッチフレーズがうまく導き出せるか心配していたが、まとまったものが出来て良かった。
- みんなで話し合っってキャッチフレーズを完成させる事が出来た。(参加者が少なかったが)
- イメージした単語の組み合わせでいろいろな方向に成るので大変ためになった。
- 課題からキャッチフレーズをつくる時は、一人ではとても無理だと思っていたが、他の人の意見を聞いていくうちにイメージができてきました。今日は、「人の意見に便乗して考える」を実感しました。
- 欠席者が多い(6人)割には精力的な話し合いができた。ようやくここまできて、10年後を見通した話し合いがなされるようになったという満足感がちょっぴり出てきた。
- キャッチフレーズ作成前で「クセン」しましたが、グループのまとまりでうまく出来ました。ありがとうございました。
- なかなかいい言葉が出てこない。どうなるか心配したが、一応キャッチフレーズができた。他の人の話を聞くのはおもしろい。
- それぞれの地区がユニバーサルデザインな地区として存在してゆくことは、共通しているような気がした。
- バラバラのキーワードをつなげてキャッチフレーズを作るのは難しかったです。もう少し北上らしさを出したかった。

○各班の発表（中間報告）のみで終わるのではなく、質問や意見の交換がほしい。何故？班としてその意見になったか。

○少しむずかしい作業でしたが、皆の想いがまとまり、うれしくなりました。他の班の方も素敵なキャッチフレーズを考えられましたね。

○各課題や目標を縦軸とすると、それを貫く。横軸に当たる考え方に、ユニバーサルデザインやネットワーク（人、道路や高度情報ネットワーク）が大切であるとの意見が出され、大変参考になった。

○既存の集積を活かす地域づくりについて意見が交換されたのは各人の貴重な考えのすり合わせとなった。

○改めて意見を言うことの難しさを感じました。でも、どんどん形になってくるのがわかって、素晴らしいグループだと思いました。

○「自然と心がきれいなまち」きたかみ。自然体にできた言葉のようにみえた。

○今日もトレード！おっかけるのが大変。なぜか、おもしろい。しらっとしながら…。

○協働のイメージにバラツキがありそう。事例や読みもの的なもので少しでも共有できるといいなと感じました。